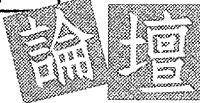


中経

日本公認会計士協会東海会
副会長

岩田 礼司

がちであり、自社の財務状況を正確に把握していないケー

スが見られる。特に、不良資産や滞留資産などの存在を見逃し、眞実の財務状況が不透明で、経営状況を正確に把握できていない場合がある。公認会計士は、適切な財務管理やキャッシュフローの把握などを通じて、企業の安定性を向上させる支援を行うことができる。

三つ目は、「コスト管理不足」が考えられる。コスト管理が不十分だと、利益が圧迫され、経営が厳しくなる。製造業の企業が利益を拡大させるには、まず製品製造にかかる原価を正しく計算し、製造原価を正確に把握する必要がある。

上記以外にも、中小企業が抱える課題はあるが、公認会計士のサポートを利用する上で、財務管理、資金調達、リスク管理、後継者問題など、多岐にわたる課題に対応することができる。企業の成長につながる。

「硫黄（いおう）」と聞くと、多くの人は比較的ネガティブな印象を抱くのではないかだろうか？ 「臭い」「体に悪そう」「匂い」「爆発しそう」とか。良いイメージとしては、せいぜい「温泉」を連想してもらえば、関の山であろう。これら印象は、硫黄（正確には硫黄化合物）のある側面のひとつに過ぎないのだが、やや悪目立ちしがちなこともあり、全体として「硫黄は危険」という認識が定着しているように思われる。

さて、著者は、この物質に注目。これは主に八個のSが輪っか状に、物質であり、 S_8 に無臭（！）である。安定な物質は、石油精製の副生物である。日々大量に生産されており、われらのシステムが化石燃料の上に成り立つ

東海エリアにおける中小企業数は、約41万社（2021年度出典・中小企業庁「中小企業白書2024年版」）で、12年度と比較して約7万社減少している。この減少の要因には、さまざまなものがあると思われる。今回は、中小企業が抱える課題について公認会計士の観点から種々の課題について考える。

一つ目は、「財務管理の不十分」が考えられる。中小企業では、財務管理が十分に整備されていないことがよくある。経営者は利益に目が行き、

八公認会計士の多様な支援

一つ目は、「資金調達の難しさ」が考えられる。中小企業は、大企業と比較して資金調達が難しい。公認会計士は、適切な融資先を紹介することや、金融機関へ提出する事業計画書など、金融機関から要

余剰硫黄を高価値物質

単体硫黄の化学变换

硫黄は、石油精製

歌舞
1、毎春
の開幕
る「大
いこ」
を前に
披露し
の公演
四季と
け声と
物を身
安神宮
描かれ
演は4
枝の袖
は人一
を忘れ
いた

発性といった要素は、一種の硫黄系物質にみられる特性ではあるものの、すべての硫黄系物質に共通するも

学部准教授
原 陽平

の副生物である。日々大量に生産されており、われらのシステムが化石燃料の上に成り立つ

オープン
カレッジ